

維新時の鮮やかな手並み、勝つという意味において、
反面教師となる西南戦争時の西郷、
そして、そういう西郷に対する増田宋太郎の言動。

西郷の場合は、どうも経営者というよりは、
求道者的な色合いが濃いように思われるが、

人に動いてもらって勝ち続けていかなければならない
「経営者」と呼ばれるリーダー達にとって、
心底惚れてくれる同志的な部下が居なくては、
目的成就是叶わぬであろう。

そういう意味合いから言えば、
彼は大変参考になる研究対象の一人ではないだろうか。

それにしても……
「死生を共にせんのみ」などという言葉を、
幕僚以外の者にまで言わせてしまう西郷が、
人間として超魅力的であったことだけは間違いなさそうである。

秀吉のことを「人間の傑作」と称した作家の司馬遼太郎氏は、
西郷のことは、「人間の宝石」と表現した。

結論になるが、物質的には不自由することのなくなった昨今、
世の中は、一見金がすべてを支配しているように見える。

しかし、**実は、使われている側が渴望し、
経営者を含めてリーダーと呼ばれている人達に
一番求められているのは、
この種の魅力のような気がしてしかたがない。**